

薬剤師が中心となって委員会やさまざまな活動をしています。

◎ 委員会

◆ 院内感染対策委員会

結核・百日咳・インフルエンザなど、社会的に注目される感染症へ積極的な予防策の推進をしています。

◆ 薬剤医療材料委員会

医薬品・医療材料の適正かつ効率的な使用に取り組んでいます。

◆ 医療ガス安全管理委員会

医療ガス設備の安全管理と患者さんの安全確保に努め、講演会や勉強会を主催しています。

◆ 医療安全委員会

日常の医療活動において医療安全が徹底できるように誤薬などの対策に部署を挙げて取り組んでいます。

◎ 医療チーム

● 栄養サポートチーム“NST” (Nutrition Support Team)

医師・看護師・管理栄養士・言語聴覚士などの各専門スタッフとともに、入院患者さんへの最良の栄養支援を行っています。



● 化学療法

がん治療で患者さんに合った抗癌剤の選択支援や副作用への対策、抗癌剤の調整などを担っています。

● 内分泌代謝治療チーム“MCT-YACHIYO” (Metabolism Control Team)

糖尿病などの生活習慣病への療養指導を医師・看護師・検査技師・リハビリスタッフなどと取り組んでいます。

● 治験

専属の治験コーディネーターとともに新開発薬の臨床での有効性や安全性について確認を行っています。



症例の数だけ、
薬剤師として成長できる

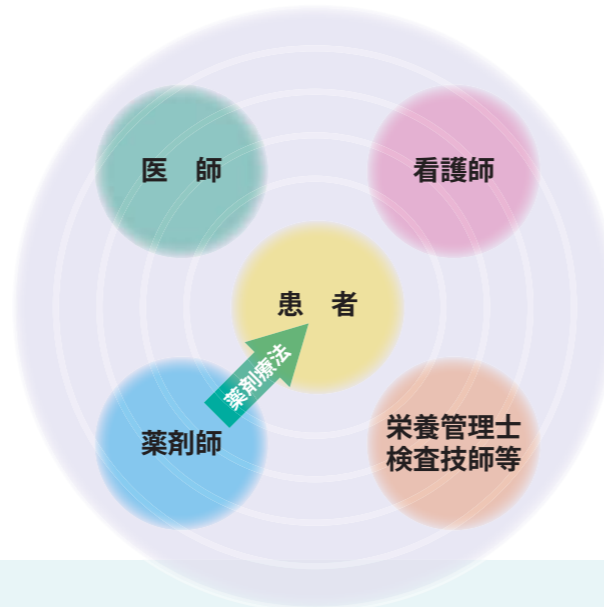
薬剤師募集

八千代病院のチーム医療は

We are the Pharmacists in Yachiyo Hospital

薬剤師がサポートしています。

八千代病院の薬剤師は、患者さんの立場に立って薬に対する必要な情報は何かを考え、医療チームの一員として最新の医薬品情報の収集、薬物療法の提供、薬剤管理を常に行っています。



八千代病院薬局の特徴

1. 診療科目29科の患者さんが対象。さまざまな症例に出会えます。
2. 急性期+療養型=ケアミックス。地域の基幹的役割を担っています。
3. 専門性を高め、先進性を学び、スキルアップに繋がります。
4. チーム医療の一員として、高度な専門知識と技術を提供します。
5. 患者さんと直接向き合い、的確な医薬品情報を提供します。



調剤業務

薬剤師は、処方箋の内容について飲み合わせ・副作用・投薬量・飲み方・期間などのチェックを行い、患者さん一人一人に適した調剤を行います。また医師の依頼により、外来患者さんに薬の効果や副作用使い方等を説明します。



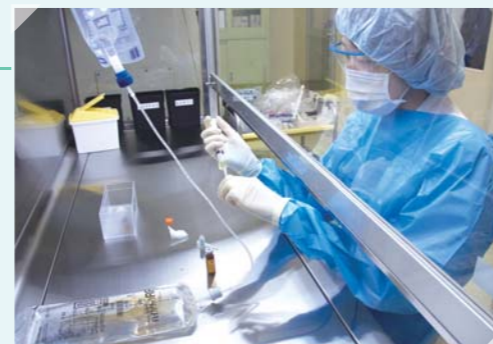
薬品管理業務

院内で薬を安全に使うために、外来・病棟・手術室の注射薬や外用薬等の品質・在庫管理を行っています。入院患者さんへの注射薬は、注射処方箋に従って1日分を取り揃えて病棟に供給しています。薬品管理は、注射薬の適正使用、適切な薬物療法の提供にもなります。



注射調剤業務

IVH（高カロリー輸液）をクリーンベンチ、抗癌剤注射を安全キャビネットの中で薬剤師が無菌的に調整しています。薬剤師が行うことで患者さんの感染症や合併症に対するリスクを防ぎ、投与スケジュールや投与量の管理を行い、安全かつ有効的な薬物療法の一役を担います。



薬剤管理指導

医師や看護師などと連携をとりながら入院患者さんが受ける薬物治療の情報を管理します。ベッドサイドに伺い薬のアレルギー歴や副作用歴などを確認し、副作用の発現防止や早期発見に努めています。また、患者さんに有効なお薬を使用していただくため、注射薬を含めて薬の効果、使用方法、使用上の注意点などをわかりやすく説明して、薬に対する不安や疑問などの相談にも応じています。



製剤

軟膏・坐薬・消毒薬など、市場に販売されていない薬が必要になった時に、安全性・安定性・有効性・経済性等を考慮して院内で独自の製剤を調整しています。



医薬品情報の提供

院内で使う医薬品に関する情報を集積し、整理します。院内・院外からの問い合わせに対応するとともに、新たな作用や副作用が発見されたら情報を提供しています。また、院内で発見された副作用等を収集し、メーカー、厚生労働省に報告を行っています。

